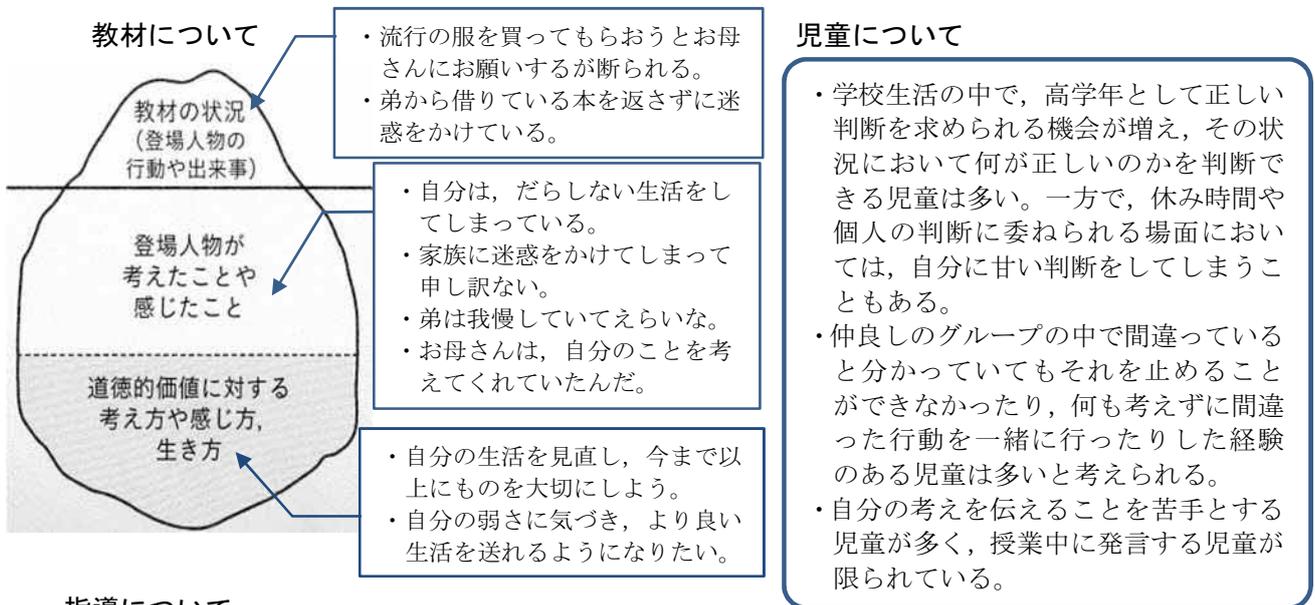


第5学年 道徳科 授業構想シート

- 1 主題名 自分の生活を見直す【A-節度，節制】
- 2 教材名 「流行おくれ」 東京書籍 『新訂 新しい道徳5』
- 3 ねらい

流行について行くために家族に迷惑をかけてしまったまゆみ的心情を考えることを通して，節度を守って生活することの良さに気づき，自分の生活を見直し，節度のある生活をしようとする態度を育てる。

4 授業づくり



指導について

- ・導入では，児童の経験や事前のアンケートを活用して，課題意識をもって本時に臨めるようにする。
- ・中心人物の言動から人間の弱さに対する理解や共感を促しつつも，「このままでいいの？」と問うことで，ものを大切にしたり節度を守ったりするという道徳的価値理解につなげられるようにする。
- ・母親の思いや弟の行動についても問うことで，まゆみの言動の問題点を多角的に捉えられるようにし，価値理解を深められるようにする。
- ・ふり返りでは，本時に考えたことをもとに過去の自分をふり返ったり，これからの自分について考えたりする機会を設定し，自分の生き方とつなげられるようにする。

5 道徳的価値の系統性

〔第1学年及び第2学年〕

健康や安全に気を付け，物や金銭を大切に，身の回りを整え，わがままをしないで，規則正しい生活をする。

〔第3学年及び第4学年〕

自分でできることは自分でやり，安全に気を付け，よく考えて行動し，節度のある生活をする。

〔第5学年及び第6学年〕

安全に気を付けることや，生活習慣の大切さについて理解し，自分の生活を見直し，節度を守り節制に心掛ける。

6 本時の学習について

(1) 展開

学習活動	教師の働きかけ
<p>1 節度・節制について考える。 「〇〇し過ぎた」など、もう少し考えて行動すればよかったなという経験はありますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自制する心をもって生活することの良さを考えよう。</p> </div> <p>2 教材文について考える。</p> <p>① あらあらしく自分の部屋に駆け上がった場面 「まゆみは、どんなことを考えていたのでしょうか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1着ぐらいいいじゃない ・何で私の気持ちをわかってくれないの ・私だけ流行おくれになってしまう <p>「どうしてお母さんは買ってくれなかったのだろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この前買ってあげたから ・今もっている服を大切にしてほしいから <p>② しいんとした部屋で考えている場面 「まゆみは、どんなことを考えていたのでしょうか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうしてこんな態度をとってしまったのだろう ・お母さんに悪いことをしてしまったな ・弟はがまんしていたのに私は・・・ <p>「なぜ、まゆみはそうなってしまったと思いますか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がまんできなかったから ・自分のことばかり考えていたから ・流行ばかり気にしてたから <p>3 本時の課題について考える。 「自制する心をもって生活することの良さって何だろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無駄遣いをせず、お金や物を大切にできる。 ・人に迷惑をかけずに過ごせる。 ・きちんとした大人になれる。 <p>4 本時の学習を振り返る。 「これまでに〇〇し過ぎた自分に声をかけてあげよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買う前に本当に必要か考えてみようね。 ・少しがまんするだけで気持ちよく過ごせる。 ・がまんできなくなったら深呼吸してみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の経験をふり返ることで、本時でねらいとする道徳的価値への方向付けをする。 ・事前にアンケートを取っておくことで、子どもの実態を把握し、学習に活かせるようにする。 ・わかっている、自分の気持ちを抑えるのはなかなか難しいことへの共感を促すことで、本時の課題を形成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・まゆみのお母さんへの怒りや自分勝手な行動を省みない様子を押し返すことで、自制することの難しさを捉えるとともに、自身の経験もふり返る機会としたい。また、まゆみの思いを非難するのではなく受け入れる立場から、人間理解を促すようにする。 ・お母さんの言葉にも着目させ、その意図に気付けるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分勝手な行動のせいで家族にいやな思いをさせてしまっていることを押し返すことで、自制することの価値に気付けるようにする。 ・「弟はどうだったろうか」と対比させることで、改善すべき点に目を向けられるようにする。 ・「なぜ」の問い返しを行うことで、まゆみを通して自分の生活についてもふり返りながら理由を考えられるようにする。 ・お母さんや弟の立場からも考えることで、考えを深められるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの話し合いを通して大切だと思ったことを班で話し合い、自分の考えがもてるようにする。 <p>☆課題に対する自分の考えをもてるように話し合っている学習状況を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時で考えたことが学びにつながるよう、自分の言葉で記述することを大切にする。 ・数名の子に自分のふり返りを発表させることで、これからの自分の生き方につなげられていることを価値づけるようにする。

(2) 授業の視点

- ・発問構成および補助発問は、子どもが問いをもち、本音で語り、多面的・多角的に追求し続けるために効果的であったか。